

智頭町芦津におけるニホンモモンガを中心とした小型哺乳類の生態調査およびそれに基づいた森林計画と地域振興に関する提案

発表者

小林 朋道 鳥取環境大学環境学部 教授

概要

「ニホンモモンガの生態」については、モモンガが営巣場所として好む植生条件、出産時期、産仔数、仔の独立時期などについての生態学的な知見が蓄積されつつある。また「生態調査をもとにした森のデザインや地域活性化の実践」については、スギ林のなかに残された自然林の重要性が明らかになりつつあり、また地域の人たちに地元の産物でつくってもらった製品（芦津モモンガグッズ）のネットを中心にした販売などもはじまっている。

モモンガの生態・行動の調査法、研究成果

他の動物との棲み分けの状態を調査

個体識別や遺伝子の分析

滑空に適応した軽い骨組織と短い吻、長い指

青森モモンガプロジェクト
モモンガグッズ販売

モモンガは自然林に接したスギ林を好む？

スギの樹皮を巣材に使うのは、スギ樹皮の高い抗水浸透性

早のほうが定住性が高い

モモンガにとって、自然林に接したスギ林が理想的な生息環境

モモンガは枝の少ない樹木を好む

芦津の人達との学生も巻き込んだ交流
モモンガ観察会／モモンガの風呂グッズ意見交換会／展示販売会
ミニ地球づくり

【来場者へのメッセージ】日本固有の希少動物であるニホンモモンガを中心とした野生生物が生息する森林の保全と地域の活性化を両立させる取り組みを行っています。モモンガグッズをネットで販売していますので (<http://dem.kankyo-u.ac.jp/momongashop.html>) 気に入られたものがありましたらご注文下さい。売り上げの一部は森の保全のためのモモンガ基金になります。また、今回のような形の、自然の保全を通じた地域の活性化は芦津以外でもやれる可能性があります。関心をもたれたは下の連絡先まで。

連絡先： 鳥取環境大学環境学部環境学科 教授 小林 朋道

鳥取市若葉台北 1-1-1 TEL. 0857-38-6761 E-mail:t-kobaya@kankyo-u.ac.jp

分野

動物行動学, 人間比較行動学, 保全生態学

プレゼンタイム

無